



キャンジャウ小学校にて

## 子ども達の拠点、 「モヨ・チルドレン・センター」建設、 日本キャンペーンに向けて

1994年7月、縁あってアフリカ・ウガンダに一步を踏み入れて以来、この7月で丸10年が過ぎます。この10年間、多くの方々に支えられながら、ウガンダ、ケニア両国で子ども達、若者、地域の人々と共に私なりに歩んできました。

共に歩んできたウガンダの子ども達は、今はもう大人。まだ時々助けを必要とするものの、貧しいなりに自立をして頑張っています。このウガンダで、元スタッフが創立しこれまで運営してきた貧しい子ども・若者達の自立のための職業訓練校に、昨年、ある会社のご厚志を得て、3教室、事務室、道具、

機械類等を贈ることが出来、ウガンダでの拠点ができました。

一方で、「モヨ・チルドレン・センター」ケニア本部には子ども達の拠点になる場が、未だにありません。とりわけ今年になってストリートの子子ども達と直接関わるようになってからは、彼達が安心して来られる場が欲しいと切実に思うようになりました。準備は何年か前から始めており、図面を描き、予算もでていたのですが、資金面で躓いていました。しかし昨年、長引いていた土地取得手続きもどうにか完了したこともあり、思い切って今年にはセンター建設

### センター建設予算と規模

2003年8月1日付け・建築費のみ、家具等含まず  
 レート…1ksh ≒ 1.429円

#### ■予算

- MOYO CHILDREN CENTRE(センター建物本体)  
 …5,385,975ksh ≒ 7,696,558円
- EXTERNAL WORKS TO CENTRE(外回り工事)  
 …1,305,539ksh ≒ 1,865,615円
- PROVISIONAL SUMS(予備費)  
 …350,000ksh ≒ 500,150円
- 合計…7,041,514ksh ≒ 10,062,323円

#### ■規模

鉄筋石造り二階建て

#### ●一階…ストリートチルドレンのリハビリセンター・オフィス等

広さ：メインが 157.4㎡ + ヴェランダ 22.08㎡  
 ※広めのミーティングルーム (子ども達が集う場・勉強、読書、室内ゲーム等もできる。またスラム婦人グループ・若者グループ等の集会・作業等にも使用) ※オフィス ※医務室 ※トイレ・シャワー室 ※台所 ※貯蔵室 ※ロビー ※洗濯場 ※ヴェランダ等

#### ●二階…子ども達の住まい (まず男子10名を予定)

広さ：メインが 157.41㎡ + バルコニー 5.28㎡  
 ※寝室 ※勉強部屋 ※ダイニング ※台所 ※貯蔵室 ※世話人の部屋 ※トイレ・シャワー室 ※バルコニー等

### 現地役員 ■プロフィール紹介 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

#### ジョージ・オワデ

名前：George Otieno Owade  
 Opondo (ジョージ・オチエノ・オワデ・オポンド)

…通称ジョージ或いはオワデ

生年月日：1973年2月2日

性別：男性

血液型：B型 (Rh +)

国籍：ケニア人

経歴：1995年 / ローカル NGO 「マザレ・ジュニア・センター」 を設立・ダイレクターとなる

2000年 / モヨ・チルドレン・センターに役員として参加。

2003年 / モヨ・チルドレン・センターの運営アシスタントとして登録、働き始め現在に至る。

現在ナイロビ大学社会人コース1年在学中。

当「モヨ・チルドレン・センター」との関わりは、現主宰の松下が NGO 設立を準備していた1997年に知り合い、既に NGO を設立していた彼から色々アドバイスを。1999年松下が「モヨ・チルドレン・センター」を設立後は役員の一人として参加。2003年、前マネージャーの仕事の関係で南アに移り住んで以来、運営アシスタントとして登録、週に3日働き始める。



に向けて皆様にご協力をお願いすることを決意しました。

私と現地役員のジョージ・オワデの二人でお伺いする予定です。一ヶ所でも多くの場所で、一人でも多くの方々にお会いし、ご協力をお願いしたいと思います。このキャンペーンを成功させ、念願のセンター

を建設したいと願っています。皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

なお、日本でのスケジュール決定分を以下に掲載しています。最寄の会場にお越しく下さい。また、空いている日がありますので、講演会、小さな集会など、声をかけて下さればどこへでも出かけます。

モヨ・チルドレン・センター主宰 松下照美

## 松下照美 日本でのスケジュール

月日	地域	予定 / 講演会場 / 時間 / 連絡先
7/27 (火)	ナイロビ	18:20
28 (水)	関空	着 17:00 そのまらミ中へ / ラミ中 /
29 (木)	神戸	ラミ中
30 (金)	↓	ラミ中夏季合宿合流
31 (土)	↓	ラミ中
8/01 (日)	↓	
02 (月)	↓	打ち合わせ
03 (火)	↓	ジョージ関空着 17:00
06	徳島	徳島へ移動 / 青木宅
07 (土)	↓	四国放送 11:00/ 徳島新聞社 17:30 ~ 18:30/ 山川町さくら診療所 19:30 ~ 21:00/ 登健太郎さん
8/08 (日)	↓	戸田歯科 2 階 (徳島打ち合わせ) 15:00 ~ 18:00
09 (月)	小松島市	小松島中央公民館 19:00 ~
10 (火)	徳島	ふれあい健康館 18:30 ~ 20:00/ 桑折千恵子さん
13 (金)	↓	徳島プリンスホテル / JICA ピーストックマラソン徳島 13:00 ~ 16:10 徳島新聞徳島プリンスホテル
14 (土)	↓	お盆 (松下母3回忌) / 青木宅
16 (月)	愛媛	愛媛へ移動 / 高塚政生さん
17 (火)	↓	新居浜
18	四国中央市	ともカフェ 18:00 ~ 21:00 なかまたち
19 (木)	↓	新居浜
	松山	タムタム / 13:00 ~ 15:00/ 渡辺祐爾さん / K&E Natural/18:00 ~ 20:00/ 谷勝博さん
22 (日)	松山	支援者グループ訪問
23 (月)	徳島	徳島へ移動 / 青木宅
24 (火)	神戸	神戸へ移動 / ラミ中
25 (水)	↓	ラミ中水曜会 / 19:00
27 (金)	神戸	支援者訪問
28 (土)	大阪	支援者訪問
29 (日)	↓	
30 (月)	沼津・三島	仙人文庫 / 原仙人さん
31 (火)	関東	東京へ移動 / 青木康子さん
9/03 (金)	↓	中小企業婦人会館 (武蔵小杉) 18:00/21:00
04 (土)	↓	杉並区立阿佐ヶ谷地域区民センター / 19:00 ~ 21:00/ 03-3314-7211/ 小池彰さん
05	千葉東金	支援者訪問 / 高橋季みさん
06 (月)	関東	↓ / 須江洋子さん
08 (水)	↓	会社訪問 10:00/ 青木康子さん
09 (木)	↓	10:00
10 (金)	↓	支援者訪問
11 (土)	↓	
12 (日)	↓	
13 (月)	長岡	長岡へ移動
15 (水)	↓	三条市総合福祉センター 2 階会議室 / 0256-33-8511/19:00 ~ 20:30/ 神田初枝さん
17 (金)	↓	安善寺 / 18:00 ~ 20:30
18 (土)	↓	津南町文化会館3階視聴覚室 15:30 ~ 17:30/ 小木曾茂子さん
19 (日)	↓	長岡市民センター2階 14:00 ~ 16:00/ 小林茂さん
21	仙台	仙台へ移動 / 石原邦子さん
22	仙台	エル・パーク仙台5階セミナー室 / 022-068-8300/19:00 ~ 21:00
23 (木)	仙台	支援者訪問
24 (金)	盛岡	盛岡へ移動 / 吉田仁さん / 019-621-3238
25 (土)	大船渡市	大船渡市立施設「シーバル」大会議室 / 27-8171/14:00 ~ 16:30
26 (日)	盛岡	岩手県立国際交流プラザ3階研修室ミーティングルーム / 14:00 ~ 17:00
27 (月)	関東	神奈川へ移動
30 (木)	↓	ジョージ: 羽田発関空經由帰国 / 青木康子さん
31 (金)	徳島	徳島へ移動 / 青木宅
10/05 (水)	徳島	松下関空発ナイロビへ

給食

## ストリートの子ども達への支援活動

あるインド人の方にトウモロコシの粉20キロとそれに見合った量のスクマウィキ（ケニアではおかずとして最も一般的に用いられている葉物の一種…細かくきざみ、みじん切りにしたトマト、玉葱、ハーブ等と一緒に炒め煮する）を寄付頂き、私達の活動としては初めてストリートの子ども達に昼食を提供しました。ただ、昼食を提供するということが広まれば、子ども達が集まり過ぎて私達（ボランティアを含め4名）だけでは収拾がつかなくなってしまいます。それを避けるために彼達には内緒にし、いつも集まる数が15人～多くて30人くらいなので、とりあえず50人分を毎日に準備しました。

さてその当日6月7日、場所はティカのスタジアム。私達が準備を始めると内緒にしていたにもかかわらず匂いを嗅ぎつけるのか、子ども達が続々と集まってきてその数は70名近くになり混乱が起き始めました。スタジアムの他の事務所の人の手を借りたり、シンナーを吸っていない若者達も動員し、やっと皆に食事が行き



渡った時にはホッとしました。

わき目も振らず、一心に食べる子ども達でしたが、食べ終わると小さい子どもの分を盗ろうとする子ども、準備した机の上に落ちている残飯、ナベの中の残飯を狙って殺到する子ども達も現れ、怒鳴り声が飛び交い、喧嘩騒ぎにもなるほど。一人一人に配った量は日本人なら成人男性でも食べきれないほどでしたが、彼達の食べ物に対する凄みまでの執念を改めて見せつけられ、彼達の日常の一端に触れた思いでした。

その後不定期にですが、給食を続けています。新たな試みとして、シンナーと引き換えに食事を提供、そのシンナーを子ども達の目の前で燃やすというパフォーマンスを始めました。この新しい試みに付いては、また号を改めてご報告します。

松下



## 押し花作り

モヨ・チルドレン・センターがサポートしているキャンドットウ・スラム婦人グループの『押し花プロジェクト』が進行中です。これは、仙台にお住まいのAさんの「ケニアの花を押し花にして、ラミネートしたらどうだろうか。」という発案にもとづいて始まり、ラミネートの機械とフィルムも寄付していただきました。



この婦人グループは、2号で紹介したグループとは別で、メアリー・テレシア・アグネス・マーガレット・ルーシーの5人で組織されています。彼女たちはこの『押し花プロジェクト』の他に『養豚ビジネス』をモヨ・チルドレン・センターによる少額貸付（マイククレジット）で行っています。

メンバー達は、近所から花を集めて押し花にし、紙の上に各々の好みで花をアレンジし、サインをし

ていきます。機械が1台ですし、メンバーの家には電気がないため、毎週金曜日の午後、ティカ・スタジアムの事務室に集まって、松下さんの指導の下でラミネートしています。メンバーの一人のメアリーさんは初めての試みの時、うまく出来るかどうか心配で、作業の前にうまく出来ますようにと神様にお祈りしましたが、最近は手際よくアレンジできるようになりました。出来上がった1枚毎をモヨが買い上げ、一括して支払います。グループ内での分配はメンバーにまかせてあります。

松下さんが日本へセンター建設のキャンペーンに出発する間際まで、出来るだけたくさん完成させる予定です。日本でのキャンペーン会場にて販売しますので、どうぞご覧いただきお買い上げ頂ければ幸いです。コースターにしても良いですし、壁に飾っていただいても綺麗です。

婦人グループからのメッセージです。「どうぞモヨ・チルドレン・センターをサポートしてください。そうすることにより、私達もサポートして頂けることになります。私たちは、モヨ・チルドレン・センターの一員です。」

取材 高橋

# 松下照美 一時帰国中電話番号 090-2829-7669

日本滞在中はこの番号に連絡ください。常時携帯しております。本号2ページに掲載の「日本でのスケジュール」にも記載されています。

## 「支える会」経過報告

「モヨ・チルドレン・センターを支える会」を発足して頂いてから約3ヶ月。これまでの会員数をご報告します。  
「モヨ・チルドレン・センターを支える会」会員数  
(2004年6月現在)

●正会員…日本14名・ケニア1名 計15名

●賛助会員…日本13名

●特別会員…日本・個人28名・法人3社

今後共お一人でも多くの方に、一社でも多くの法人にご入会戴き、当センターを支えて頂ければ幸いです。

松下

## ケニア・ア・ラ・カルト④ 紅茶

先回のケニア・ア・ラ・カルト朝食編でも紹介しましたが、ケニアの人たちは紅茶が大好きです。それも、砂糖とミルクをたっぷり入れたインド式ミルクティ、呼び名も同じ「チャイ」。かつて100年ほど前、ケニアに鉄道が敷かれた時に多くのインド人が移住して来ました。その人たちと共に持ち込まれた習慣なのではないでしょうか。それとも、インドと同じくケニアもイギリスの植民地でした。インド人を介さないで直接イギリス人が持ち込んだのでしょうか。そしてまた、ケニアもインドと同じく紅茶の産地です。これもイギリス人が入植した時に始めたプランテーションだそうです。JETROの資料によりますと、今ではケニアは世界第3位の紅茶の生産国だそうです。でも、コーヒーもそうですが、ケニアが紅茶の産地だということは日本ではあまり知られていませんね。ケリチョという町がこの国では紅茶の産地として有名なのですが、「ケリチョティ」なんてブランドはお目にかかれないようです。もちろん、「ケニアティ」でもいいのですが。

## モヨ・チルドレン・センター 会計報告

2003/1/1 ~ 2003/12/31 単位：日本円 / 換算レート：1円 = 0.65ksh  
NGO ビューロー承認済み

●収入 / 寄付	4,438,120
●支出	
ウガンダ職業訓練校建築費用	1,850,457
学費支援	650,766
教科書・教材費	68,094
寄付	182,580
日本往復飛行機代及び日本での交通費	223,251
人件費	107,692
印刷・事務用品費	46,249
図書費	19,708
通信費	226,315
旅費・交通費	61,978
自動車維持費	140,708
賃借料	172,154

警備費	12,923
事務所費	45,485
食費・消耗品費	60,649
医療費	5,200
交際費・会議費	63,266
水道光熱費	15,342
修繕費	16,338
会計および会計監査費	36,308
法定費	1,539
弁護士など専門職への支払い	230,769
銀行手数料	27,149
費用計	4,264,920

次年度繰越金 173,200

## 編集後記

◎いよいよ日本でのキャンペーンのスタートです。皆様にお会いできるのを楽しみにしています。(テル)

◎ナイロビでは一番寒い時期を迎えています。「こたつ」が恋しい今日この頃です。(優香)

◎先日古い写真を見ていたら照美さんがケニアに来て間もない頃がありました。8年くらい前でしょうか。私も若かったけど照美さんも若かった！日本でのキャンペーンが成功しますように。(英)

## モヨ・チルドレン・センターの歩み

1997年11月 ケニア政府大統領府 NGO ビューロー・インターナショナル NGO 登録の申請書類提出。

1999年9月 ケニア政府より国際 NGO として「モヨ・ホーム」正式に認可・登録される。

2000年10月 ティカにて、本格的に活動開始。

2001年5月 「モヨ・ホーム」から「モヨ・チルドレン・センター」に改名。

モヨ・チルドレン・センター ●ケニア政府 NGO 局登録番号：OP.218/051/97223/1006

P.O.BOX 2712 THIKA KENYA TEL/FAX：254(ケニアの国際番号)-067-22329 E-MAIL：moyo@africaonline.co.ke

日本連絡先

■モヨ・チルドレン・センター日本支部 〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部 1905 青木康子：TEL/FAX：044-433-3447

■モヨ・チルドレン・センターを支える会 〒799-0432 愛媛県四国中央市豊岡町大町 2450-112 高塚政生：

TEL/FAX：0896-25-0646 携帯電話：090-11715632 E-MAIL / tmasao@d1.dion.ne.jp

■「支える会」会費 / 寄付受付先※口座名：モヨ・チルドレン・センターを支える会 代表者：高塚政生 ※郵便振替口座番号：01660-1-73996